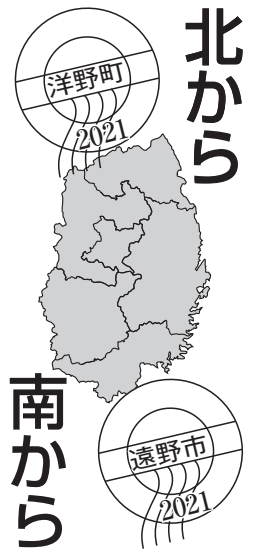


## 特色あるPTA



### 「宝」を地域二体となり育てる活動

洋野町立種市中学校PTA

種市中学校は沿岸最北端に位置しており、昨年度には宿戸中学校と統合し、新たなスタートを切っています。全校生徒162人、PTA会員数165名となっています。

本校のPTA活動は学校、家庭、地域の連携を大切にし、地域の宝である「子」の健全育成を第一の運営方針に掲げています。

学校の整備作業を年間二回



地域の方々と環境整備に汗を流しました

行っており、広い敷地の草刈りや校内の整備作業を親子・地域の方々と一緒に行っています。また、地域の協力を得ての漁業体験活動で生徒が作った「塩ウニ」や「鮭とば」をバザーで販売しています。その様子をPTA広報「おやしお」で家庭、地域に発信しています。このように学校

と保護者のみの活動ではなく、地域も含めた三者がしっかりと手を取り合っている活動を推進しています。

昨年度はコロナ禍のため、縮小を余儀なくされましたが、今後は活動の充実を図るために、地域の力添えを頂き

### 子どもたちのために知恵を出し合って

遠野市立附馬牛小学校PTA

附馬牛小学校は、遠野市の北部に位置し、周囲は豊かな自然に囲まれ、近くに美しい溪流の重湍溪、遠くに霊峰早池峰を望む景勝の地にある、児童38名、PTA会員28名の小規模校です。

本校PTAは、地域・家庭・学校の連携を大切にしながら「附っ子」たちの健全育成とそれを支える教育環境の整備を中心に、活動してきました。その活動を二つ紹介します。

一つ目は、夏と冬の「交流行事」です。

夏の企画は、カレー作り・会食、児童会考案親子レク、グラウンドでの仕掛け花火観覧です。昨年度は、コロナ禍のため、カレー作り・会食を中止し、代わりに同じくコロナ

ながら、より強固な連携をとり合っており、地域の宝である「子」を大切に育てる活動を継続してまいりたいと考えております。

(事務局 八幡一臣)

ナ禍で発表の場を失っていた児童館一輪車クラブの子どもたちの発表を組み込む等、役員でアイデアを出し合い、工夫して実施しました。

冬は、地域の高齢者を先生役として招き、凧制作と凧あげ、凧絵柄コンテスト、豚汁会食を通じた三世交代交流です。こちらも、昨年度は、家庭での凧制作、屋外でのコンテスト表彰と凧あげを実施しました。

どちらも、規模縮小・時間短縮での開催でしたが、子どもたちの笑顔



親子で協力して作った凧が、冬の空高く舞い上がりました

と歓声、親子の温かなふれあいに満ちた活動となりました。二つ目は、運動会と学習発表会前に行う、PTA環境整備作業です。

子どもたちの学びの充実を支えるべく、ほぼ100%の参加者で分担して、草刈り・窓ふき・側溝掃除等に汗を流しています。

まだまだ大変な状況ですが、安心・安全を第一に、知恵を出し合いながら、工夫して活動していきます。

(事務局 河野俊治)